

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【公開番号】特開2004-237255(P2004-237255A)

【公開日】平成16年8月26日(2004.8.26)

【年通号数】公開・登録公報2004-033

【出願番号】特願2003-31709(P2003-31709)

【国際特許分類】

C 02 F 1/28 (2006.01)

C 02 F 1/44 (2006.01)

E 03 C 1/10 (2006.01)

【F I】

C 02 F 1/28 R

C 02 F 1/44 B

E 03 C 1/10

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月12日(2005.12.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水道水栓に連結する給水管と、流路切替機構を有する本体と、前記本体に接続された浄化カートリッジと、原水を吐水する流路と原水を浄化カートリッジを経由して吐水する流路に切替る操作ハンドルとを備え、

前記給水管は、水道水栓との連結部近傍で上方に湾曲させた第一湾曲部と、上方に湾曲させた給水管を前記本体との連結部近傍で水平に湾曲させた第二湾曲部とを有し、第二湾曲部近傍の水平部を前記本体と連結し、第二湾曲部を第一湾曲部より上方に位置させて、前記本体を前記水道水栓より高い位置に配置したことを特徴とする浄水器。

【請求項2】

少なくとも前記第一湾曲部近傍及び前記第二湾曲部近傍において、前記給水管の管厚を厚くしたことを特徴とする請求項1記載の浄水器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決すべく、本発明の請求項1では、水道水栓に連結する給水管と、流路切替機構を有する本体と、前記本体に接続された浄化カートリッジと、原水を吐水する流路と原水を浄化カートリッジを経由して吐水する流路に切替る操作ハンドルとを備え、

前記給水管は、水道水栓との連結部近傍で上方に湾曲させた第一湾曲部と、上方に湾曲させた給水管を前記本体との連結部近傍で水平に湾曲させた第二湾曲部とを有し、第二湾曲部近傍の水平部を前記本体と連結し、第二湾曲部を第一湾曲部より上方に位置させて、前記本体を前記水道水栓より高い位置に配置したことを特徴とする。

給水管に浄水器をあらかじめ強固に取付けていることにより、浄水器がぐらついたり、緩んで漏水に至ることを防止することができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

この構成により、洗い物をするための空間を広くとることができ、作業性が向上する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】